

配置比較表

配置案		動線の確保	グラウンド環境	施工性	周辺への影響	経済性 (千円)	総評
A ① 案	既存中学校 3,204㎡ + 増築 3,800 ㎡ (3階建) 校舎南側配置	既存体育館やグラウンドへの接続が良い。	200mトラックを同一敷地内に確保できる。 既存グラウンド用地より、小規模なグラウンドになる。	仮設校舎を検討する必要がある。 既存校舎との近接部がある。 工事期間中、既存校舎への騒音や日照影響がでる。	既存校舎グラウンド側の配置となる為、周辺への影響は少ない。	建築関連総事業費 1,683,800 市負担額 1,309,200	○
	評価	◎	○	△	○		
A ② 案	既存中学校 3,204㎡ + 増築 3,800 ㎡ (3階建) 校舎西側配置	旧門の活用により、車両動線と通学動線をわけることができる。 校舎内動線が長くなる。	200mトラックを同一敷地内に確保できる。 グラウンドへの日照影響がでる。	仮設校舎を検討する必要がある。 既存校舎との近接部がある。 工事期間中、既存校舎への騒音影響がでる。	主要道路との距離が確保されるため、工事期間中の交通影響は少ない。 敷地南側住居との離隔距離に、配慮する必要がある。	建築関連総事業費 1,683,800 市負担額 1,309,200	○
	評価	○	○	△	○		
B ① 案	延床面積 7,000㎡程度 (3階建) 敷地中央配置	既存体育館やグラウンドへの接続が良い。 円滑な通学・校内動線を確保することができる。	150mトラックを同一敷地内に確保できる。 既存グラウンド用地より、小規模なグラウンドになる。	仮設校舎を設置せずに、工事を行うことが可能である。 工事期間中、既存校舎への騒音や日照影響がでる。	周辺住居や主要道路との離隔距離を十分に確保することができる。	建築関連総事業費 2,134,200 市負担額 1,769,600	◎
	評価	◎	△	○	◎		
B ② 案	延床面積 7,000㎡程度 (3階建) 敷地東側配置	既存体育館やグラウンドへの接続が良い。 旧門からのアクセスも良好である為、多面的に計画・検討を行うことが可能である。	200mトラックを同一敷地内に確保できる。 既存校舎の解体後、グラウンド用地の拡張を行うことで十分な広さを確保できる。 日当たりが良好である。	仮設校舎を設置せずに、比較的にストレスな施工が可能である。	周辺住居への影響は少ない。 東側道路に日照影響がある。	建築関連総事業費 2,134,200 市負担額 1,769,600	◎
	評価	◎	◎	◎	△		
B ③ 案	延床面積 7,000㎡程度 (3階建) 敷地西側配置	接道から安全な距離を確保することができる。 校内動線が長くなる。	200mトラックを同一敷地内に確保できる。 グラウンドへの日照影響がでる。	工事動線が長い。 既存校舎の一部に騒音や日照影響がでる可能性がある。	主要道路との距離が確保されるため、工事期間中の交通影響は少ない。 敷地南側住居との十分な離隔距離を確保する必要がある。	建築関連総事業費 2,134,200 市負担額 1,769,600	○
	評価	○	○	△	○		
C 案	延床面積 7,000㎡程度 (3階建) 玉里小側配置	既存中学校体育館やグラウンドへの動線が長くなる。	隣接敷地に、200mトラックを確保できる。 玉里小学校側グラウンドに日照影響がでる。	玉里小既存校舎への騒音や日照影響がでる。 工事期間中、玉里小グラウンドを使用できない。	周辺への影響は少ない。	建築関連総事業費 2,102,600 市負担額 1,996,600	△
	評価	△	○	△	○		

概算事業費のため、今後変動する可能性があります。